

柱1 みんなで支え合う地域づくり

近年、支援を必要とする人が増加し、地域健康福祉の担い手の育成が必要となっていることから、地域を基盤とした「地縁型組織」を中心にした見守り活動や目的に応じて活動する「目的型組織」による活動の促進、また両者が連携した、助け合い・支え合い（＝共助）の活動を促進します。

その際、既存の地域資源を活用し連携を深めるとともに、活動への参加意欲はあっても参加にいたっていない人に参加の機会を促進し、支援が必要な人へ結びつけていく仕組みを構築するなど、人材の育成・発掘・結びつけを行います。

また、地域の中のコミュニケーションを促進し、つながりを深めるよう、コーディネーターを配置し、地域活動センターを充実するとともに、各地域での支え合いの活動が円滑に行われるよう、既存施設等の活用促進や、活動の場の創出支援を行います。



市ではこんなことに取り組みます！
～各分野が連携して取り組むこと～

(1) 活動組織への支援の充実

①地縁型組織の支援

町会・自治会・区やふるさと協議会に代表される地縁組織は、地域を基盤とした活動を行います。しかしながら、近年、コミュニティの希薄化が進み、町会の組織率の低下や活動の減少、役員のなり手不足等が生じています。

地縁型組織は、従来から地域住民の共助の基礎として機能しており、よりよい地域づくりには欠かせない存在です。地縁型組織の活動の活性化、組織力の強化及び地縁型組織による地域健康福祉活動に対する支援を行います。

【参考事業】 民生・児童委員活動支援・研修事業／柏市民健康づくり推進員活動／町会等支援事業／ふるさと運動事業（ふるさと協議会等支援）／老人クラブの活性化

②目的型組織の支援

NPO、ボランティア団体といった目的型組織は、同じ目的のもと課題解決にむけて活動する団体であり、地域にとらわれずに活動しています。また、目的型であっても地域を限定して活動する団体もあります。

社会参加意識の高まり等により、目的型組織への参加者、団体数は増加しており、地域福祉の新たな担い手として期待されています。目的型組織の数的拡大、組織力の強化を図り、さらなる地域健康福祉活動への関わりを深めていくため、財政支援、活動場所の提供、情報の提供等を実施します。

【参考事業】 柏市民公益活動促進基金事業／柏市民公益活動育成補助金事業／市民活動センター事業

③地縁型組織や目的型組織同士の連携の促進

地縁型組織と目的型組織は、それぞれの特長を生かして共に活動することにより、地域活動の活性化と住民の参加の広がりを生み出すことができます。

地域における地縁型組織と目的型組織の連携の促進にむけ、互いの活動を理解するための場の提供や情報の提供を実施します。

【参考事業】 日常生活お手伝い（実施時期未定）／協働事業の推進／市民活動センター事業

(2) 人材の育成・発掘・コーディネートの充実

①多様な活動分野における人材の育成

現在市では、市民が参加できる地域活動として、学校支援ボランティアなど、多様な活動の場を設けています。また、あわせて、かしわ市民大学を開校するなど、人材の育成・発掘を図っています。

地域の担い手を増やすため、各活動のさらなる拡がりや新たな活動メニューの提供を行います。

【参考事業】 柏市民健康づくり推進員活動／かしわ市民大学事業／地域づくり推進事業（地域づくりコーディネーター等）／市民活動センター事業／意思疎通支援事業

②ボランティア活動機会の提供

市民アンケートでは、ボランティア活動への参加意欲はあるものの、参加にいたっていない人が多くいるという結果があらわれました。

より多くの市民の参加を促すため、はじめてでも気軽に取り組めるようなボランティア情報の発信や、活動機会の提供を充実します。また、ボランティアセンター（市社協）の支援や、柏市民活動センター（市）等で行っている人材養成のための講座等を充実させます。

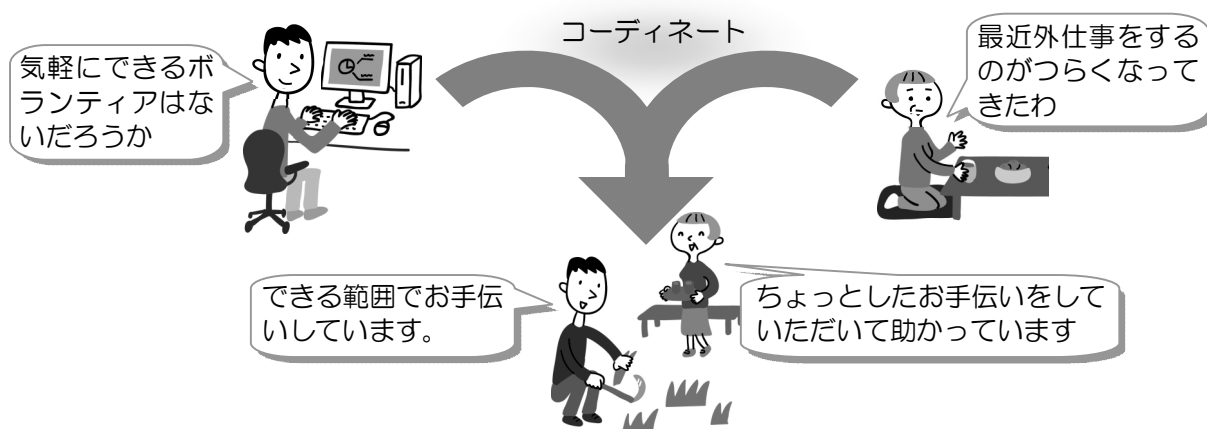
【参考事業】（市社協）ボランティアセンター／市民活動センター事業／ブックスタート事業

③コーディネートの充実

支援を必要としている人の声を拾い上げ、支援をしたい人と支援が必要な人とを結び付けていく仕組みが必要となっています。

そのため、地域の課題を把握しながら、活動が効果的に行われるように調整する役割を担うコーディネーターをコミュニティエリアごとに配置するなど、コーディネート機能を充実します。

【参考事業】（市社協）地域活動センター／ファミリー・サポート・センター事業

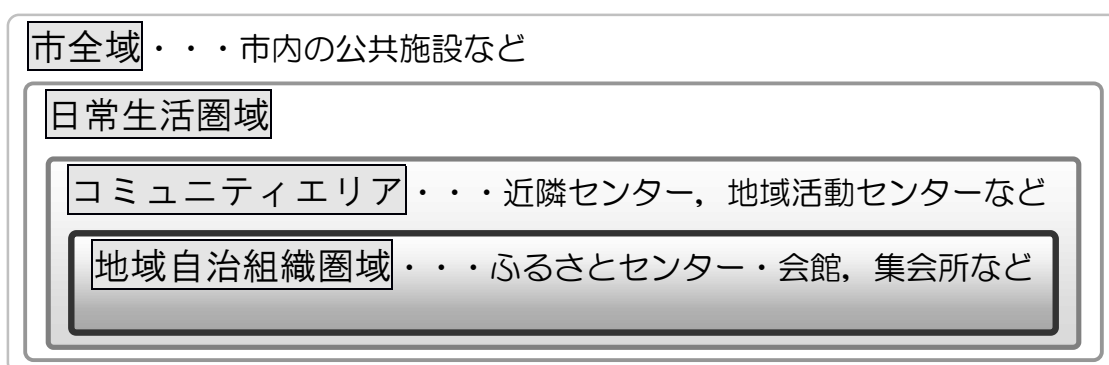


(3) 活動拠点の活用と設置支援の充実

①既存施設の活用促進

助け合い・支え合いの活動を進めるには、活動の拠点が必要です。
活動拠点となる施設については、以下の4つの圏域ごとに整備されている既存の施設について、有効に活用できるよう支援します。

【参考事業】近隣センター施設管理事業／ふるさとセンター整備事業／児童センター事業



②新たな活動の場の創出支援

地域の交流を促進し、支え合いの機運を醸成するために、地域に住む人が気軽に集まって様々な活動ができる場が必要となっています。

そのため、サロン活動やコミュニティカフェなどの地域に住む人が主体となって立ち上げる、新たな集いの場の創出を支援します。

【参考事業】市民活動センター／高齢者が気軽に集える場所づくり（実施時期未定）



コラム：●●地区コミュニティカフェ

※地域の活動の参考としてもらうため、実際に活動しているサロンやコミュニティカフェの事例（立ち上げ方や運営など）を紹介

(4) 柱1を推進していくために

■柱1を推進していくためにそれぞれが担う役割

市民一人ひとりとは・・・



地域では・・・



市は・・・

